



# 高知 学園 校友会報

校友会報第7号

平成25年10月1日発行

発行者 校友会事務局

〒780-0956  
高知市北端町100番地  
Tel 088-840-1111  
Fax 088-844-7578  
E-mail:gakkoujimu@kochi-gc.ac.jp  
題字 増田和剛(昭和63年卒)

## 「平成25年 校友会総会を終えて」

代表幹事 昭和52年卒  
山元 俊博

今年は、私ども昭和52年の他に、昭和42年、昭和62年、平成9年の卒業生が中心となり、総会の準備をさせていただきました。お陰様で、昨年を上回るご参加をいただき、今年も賑やかに皆様と楽しいひとときを過ごすことができました。幹事、世話人の方々

のご尽力に対しまして、心より感謝申し上げます。

校友会総会は、それぞれの部門を卒業した校友が集い、親睦を深める場であるとともに、母校の近況を知り、学校を激励できる絶好の場でもあります。来年も、今年以上のご参加をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、校友会のますますの発展と、校友の皆様の御多幸を祈念して御挨拶とさせていただきます。

## 校友会報に寄せて

校友会名誉会長 森光 俊夫



仲秋の季節、校友の皆様にはお変わりございませんか、気候不順が続きましたが、健康には留意されご自愛お祈りします。

過日、9月14日校友会総会も三百名からの校友が参加し、盛会のうちに終わりました。私は多数の校友が集うこの会が盛会であることが校友会の活性化につながるの話をさせて頂きました。年に一度の総会であり、学年幹事の努力により校友が一堂に会して旧交を暖め交流を図る場が校友会であり、昔日を思うと感無量の思いが致します。私は出席の皆様にもお伝えしたのでありますが、今総会もまた六期十二年勤めさせて頂きました会長職を辞任致しました。故西野前会長より引継いでこの期間でありましたが、

各支部会、学園の種々行事等にも出席させて頂き、又募金の協力もお願いして参りました。在任中皆様より寄せられたご芳情は有難く感謝に絶えません。母校は江陽学舎より始まり幾多の校名変更を重ね、今や幼稚園から小学、中、高、短大、リハビリ学院の総合学園へと発展して参りました。学園の歴史は長く創立一四十年になります。この輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、更に飛躍、発展させる事が後世の責務であります。我々校友も巣立った母校が永遠に発展する事を祈るのであります。筆舌つくしませんが、校友会も竹内会長のもと結束して母校の発展の為に貢献できる強力な組織であることを念じます。皆様方のご支援によりまして、会長職を全うする事ができました。感謝を込めお礼のご挨拶とさせていただきます。

## 高知学園校友会 新会長就任の挨拶

校友会会長 竹内 康雄



この度、歴史と伝統ある高知学園校友会会長に選任いただき、大変に名誉と思えますと同時に、その責任の重大さに身が引き締まる思いです。

私、昭和42年3月に高知高校を卒業し、その後昭和56年6月から校友会副会長に就任、本年度32年が経過しました。その間、4年前まで5年間旭食品株式会社の社長をしてきた関係で、出張が多く校友会活動に参加することが出来ず、ご迷惑をおかけしました。現在は代表取締役副会長となり、高知に居ることが増え、高知県発展の為、微力ながらお手伝いをさせていただいております。

高知学園は6年後の平成31年4月には創立120周年を迎えます。今後とも、諸先輩が築かれました歴史と伝統を引き継ぎまして、学校・保護者・卒業生が一元となつて幼稚園から大学までの総合学園として、社会に役立つ人材を一貫教育しなくてはなりません。

校友会としましては、役員並びに事務局が一致協力し、職責を果たしてまいりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、母校高知学園と校友会の発展と校友皆様のご健勝をお祈りいたしまして、挨拶とさせていただきます。

## 副会長の皆様

- (留任) 山地 好市 (昭和42年卒)
- (新任) 高瀬 久志 (昭和46年卒)
- (新任) 北川眞智子 (昭和56年卒)

いぶこわい

高知中学高等学校長 森 暁



前 高橋啓明氏の後任として、平成25年4月1日より校長を拝命し、着任いたしました。身に余る重責ではございますが、母校に少しでも恩返しをすべく精励して参りますので、校友の皆様にはどうぞよろしくお願い致します。

私は、中学・高校と「高知学園」でお世話になり、遊び、学び、また、広がりのある多くの学友を得て、昭和44年に卒業いたしました。その頃からすれば、四十年余りも時が流れましたが、本校の校風の一つである部活動の逞しさは今も顕在です。この3月の中学野球部の全国優勝、今春の甲子園での高校野球部の大健闘、県体での柔道部や剣道部、体操部やテニス部、ライフル射撃部の活躍、文化部では吹奏楽部に代表される活躍など、先輩方の活躍を受け継いでおります。

するものもいる、両立をこなすものも居る、これが、諸先輩方が培ってこられた高知学園の姿であろうと思うところで、こうした活動を通じて培われた、明るさや伸びやかさ、逞しさが本校の校友の広がりやを築いて参りました。競争の激しい時代を迎えておりますが、やや低迷する進学実績をさちんと課題視し、学ぶことから逃げない学校づくりを、そして高知学園らしい文武両道の実現を目指して取り組んで参りたいと考えております。



2013.8.31(土) AM10:00~PM6:00

イオンモール高知にて開催しました。



↑ 入学相談コーナー



↑ 高知中学・高等学校 吹奏楽部演奏



↑ 高知小学校 English with タッキー

このイベントは、高知学園の魅力を広くアピールすることにより、各学校の学生生徒等の募集活動につなげようと、今回初めて計画・実施したものです。タイトルを「まるごと高知学園 GAKUEN祭」と銘打ちまして、セントラルコートでは、学校ごとにブースを構え、入学相談や短期大学の血圧測定、リハビリテーション学院の体力測定などを行いました。また、南コートでは、幼稚園児や小学生の歌や合唱、中学高等学校吹奏楽部の演奏などの多彩なプログラムを展開しました。



↑ 高知学園短期大学 医療衛生学科 歯科衛生専攻 はみがき体操



**機関紙「花たちばな」の由来について**  
 校友会理事 星野 絹枝

命名者は初代高知学園長川島源司先生である。初子夫人の女性としてあるべき姿への熱きメッセージも添えられて、うぶ声をあげた由来について、信清権馬先生（創立者）の家紋が橘であったこと、そして花の香りをイメージし、紙名とされた。

また、母校と卒業生を繋ぐ役割を果たして欲しいとの願いもこめられたとお聞きした。題字については川島先生82歳の直筆である。懐かしい想い出が昨日の事のようにたむろする。川島先生が亡くなられた30年の時が流れたが、ひたすら高知学園を愛されご尽力された功績は今なお輝き眩しいほどの光をはなつ。機関紙の発展に寄与する力を持ち続けたい。



**第2回「大同窓会」について**  
 幼児教育科（現幼児保育学科）  
 第19期生 森山 利香（旧姓坂本）

去る9月7日（土）6時半より、幼児教育科の同窓会があった。第1回目より人数は少なくなつたが、それでも多くの卒業生が集まり、久しぶり何年ぶりの再会に胸はずませて嬉しさと喜びに満ちあふれていた。

幼児教育科は、みんな昔のままで、変わったといえませんが、他は全く変わらないうわい全開で、にぎやかな夜はふけていた。

て欲しいと筆をとりながら願ってやまない。

**平成25年度 生活科学学科の同窓会 助成活動について**  
 高知学園短期大学同窓会  
 理事 古屋 美知

今年度生活科学学科では2つの助成活動を実施しました。まず1つめは、中国四国農政局高知地域センターから講師をお招きして、

**大同窓会報告**  
 高知学園短期大学同窓会  
 理事 河村 千賀

参加人数は43名でした。受付、司会、余興など卒業別に分かれていきました。校歌も先生のお言葉を頂いて、わかれていきました。卒業別には次々とお世話役2組の卒業生にお話しする機会も決まらなかつた。そして、学短のさらなる発展をお祈りしました。今回の同窓会にあたり同窓会活動助成金を活用させて頂いたことをご報告させていただきます。感謝致します。

先生方も多くお招きしたかったが都合がつかず、曾我部先生だけの参加となったが、先当の周りには多くの卒業生が困るで話も弾み、楽しく雑談していた。

このように盛大に開催され、多くの旧友と再会できる場をみんなで作ってあげていくことができたのも幼児教育科の団結心仲間意識が強い証しではないかと思つた。また第3回はつなげていけるように広げていきたい。



(上記2枚の写真は平成25年8月7日実施の講演会の様子)

「食の知っ得講座、よく分かる食品安全」についてご講演いただきました。内容を分かりやすくお話ししていただきました。その後、講演後も活発な意見交換がなされました。その後、「安全な食を引き継ぐ食育とは」のDVDも紹介いただきました（参加者33名）。調理技術講習会を開催しました。調理技術講習会を主催する調理師が主たる仕事内容となります。



(上記2枚の写真は平成25年8月30日実施の講習会の様子)

だけかし、2年間の学内実習だけでなく調理技術に不安が残る学生もいます。夏季休業中に技術に関する特訓を集中して行うことにしています。技術指導に繋がっています。参加者からはマンツーマンでの指導が欲しいとの声も聞かれました。前向きな意見が聞かれました。今年度の振り返りも調整していきます。次回（参加者26名）を考

# 卒業生今昔

## 「人生、高知学園とともに」 高知リハビリテーション学院 助教授 昭54年卒 清岡 学

昭和54年3月、麗らかな春の日差しを背に受けて高知高校の卒業式に臨んだ。中学校からの6年間、スポーツクラブが注目を浴びる中、中学校の担任であった八波淳一先生の勧めで「レオクラブ」に入部した。奉仕活動や施設慰問などを行う地味なクラブであったが、この経験が現在の自分の礎となったのである。活動の中で初めて理学療法士という専門職を目にし、これが自分の進む道という意思を確固たるものにした。

高校2年生の時、レオクラブの世界大会が東京で開催され、なぜか自分がクラブの活動報告を世界各国の代表者と一緒に発表するということになった。ドキドキもので発表したのはのだが、これが何と世界最優秀賞となり、当時の高知新聞に知事と並んで掲載されてしまった。翌日の学校ではひそかに騒がれ、少々気まずい思いをしたことを今でも鮮明に覚えている。そして卒業式ではスポーツクラブを差し置いて、クラブ功労賞を戴くこととなった。卒業証書、皆勤賞、クラブ功労賞と3度も講堂の壇上におもむくはめに。今でこそ思えば恥ずかしさが先にたつが、何かと目立つ生徒であったような気がする。

卒業後は、迷わず同学校法人の高知リハビリテーション学院に入学。苦しい勉強に泣きそうになりながらも、現高知リハビリテーション学院長の尾立氏(昭34年卒)による講義や、立川親方(元関脇土佐ノ海関、平成2年卒)から近況報告が行われ、母校を懐かしみ親睦を深めました。

平成24年12月8日(土)に総会を開催しました。当日は、東京理科大学名誉教授である尾立氏(昭34年卒)による講演や、立川親方(元関脇土佐ノ海関、平成2年卒)から近況報告が行われ、母校を懐かしみ親睦を深めました。

## 「平成25年 関西地区校友会報告」

平成25年8月24日(土)、昨年に引き続き総会を開催しました。今年も、本校卒業生が経営する料理屋で懐かしい土佐の料理を味わいながら、旧交を温めました。

## 校友会報発刊募金について(お願い)

校友の皆様からの募金により、年1回の会報発行を続けています。今後ともご協力の程お願いいたします。

## 「平成24年 関東地区校友会報告」

平成24年12月8日(土)に総会を開催しました。当日は、東京理科大学名誉教授である尾立氏(昭34年卒)による講演や、立川親方(元関脇土佐ノ海関、平成2年卒)から近況報告が行われ、母校を懐かしみ親睦を深めました。



## 校友の皆様へ

昭和40年代以前の校舎風景やクラブ活動写真を収めた古いアルバムなどお持ちでしたら、事務局まで、ご一報下さ

## 校友会プログラムに協賛広告を戴いた方々

- アキトモ
- 旭食品
- 安楽寺
- 伊藤商会
- 母屋
- 泉清博士地家屋調査士事務所
- I Z U フードビジネス
- うなぎ屋きた本
- H S 企画
- えおとシステムズ
- オアシス・イラブレーション
- オフロム
- おべんとう太郎
- 尾崎塗装工業
- 関西砕石
- 金高堂
- 国見開発工業
- 高知県文具
- 高知県臨検検査技師会
- 高知システムズ
- 高知エニフォームセンター
- 高知緑地
- 高知事務機
- 高知学園短期大学後援会
- 高知学園短期大学附属高知幼稚園
- 高知リハビリテーション学院
- 高知銀行福井支店
- 高知中学校PTA
- 高知高等学校PTA
- こじまや
- コトブキ
- 金剛
- 新中国料理彩華
- 佐々木歯科医院
- 佐々木歯科診療所
- 三翠園
- サンポー
- サン電気
- 四国運輸せとうち
- 四国銀行
- 城西館
- 島内書店
- スタジオオオカムラ
- 7 days Hotel
- セコム高知
- ダイセイ
- タイヤ館
- タナベタイヤ
- 田邊木材
- 田村雄一建設設計事務所
- 土佐タイプ
- 土居印刷
- ドコモショップ鴨部店
- 中元商店
- 西村剛商店
- 日製設備サービス
- 日本通信工業
- ヒロマツスポーツ
- 星野酒店
- ホテル日航高知
- ミタニ建設工業
- メグネの三誠高知インター店
- 八井田歯科医院
- 土佐船越 康
- ヤツア・ファクトリー
- 山元
- ユニオン
- ラフイング
- 隆栄建設工業
- ロイヤル
- 浪漫亭
- 和光不動産
- (敬称略)

本誌にありがとうございました  
来年もよろしくお願ひします

## 「平成26年版 校友会名簿発行のお知らせ」

このたび、平成26年版校友会名簿を発行する運びとなりました。名簿発行につきましては、正式な校友会事業として株式会社サ

- 名簿発行日：平成26年7月下旬
- 体裁：A4判(約720頁)
- 名簿価格：4,300円

ラト(兵庫県姫路市)に委託しております。

株式会社サラトのホームページ <http://www.salat.co.jp>

## お詫び

先般、平成26年版名簿作成につき、住所確認ハガキ及び賛助広告依頼の案内状を株式会社サラトより発送いたしました。新会長名で送付すべきところ、森光俊夫前会長名で発送しました。手違いにつき、お詫び申し上げます。

## 編集後記

秋も深まり、季節の移ろいを感じる時節となりました。世の中は、オリンピック開催に消費税8%決定など、様々に動いています。我が校友会も、新会長就任となり、古き良き伝統を守りつつより良く進化をしたいと思います。

編集委員一同

